
きみとあるくみち

李祢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

きみとあるくみち

【コード】

N8105G

【作者名】

李祢

【あらすじ】

学校に行く途中で、出会った一匹の子犬に、名前を、決めるが・・。

(前書き)

面白い内容になってますので、ぜひ呼んで見て下さい。

出会い

ちゅんちゅん……。可愛い小鳥のさえずりが、聞こえる。

「ひゃー。もうこんな時間。」

時間を見ると、もう7時。完璧に遅刻だー（汗）

「やっばい。遅刻する。」

私は、鐘野仁美。遅刻少女としてもして、有名だ。着替え終わり、ご飯を食べて、親にいつてきますした後、私は急いで学校へ行った。

学校に行く途中、一匹の子犬が、居た。

それが、出会いだった。

友達

高校に入りたての私は、まだ一人も居なかった。だけど、そんな時、一人目の友達が、

「ねー。一緒にご飯食べよ。」

と、言ってくれたんだ。その時、私は凄く嬉しかった。だから、

「うん。いいよ。」

と、返した。

それから、だんだん、友達が増えていったんだ。

犬

学校に行く途中で拾った犬は、お母さんに頼んでやっと、家で飼う事が出来たのだ。私は、さっそく、その犬に名前を付けることにした。

名前

さんざん悩んで、決まった名前は、ポチ。何か、響きが、可愛かったから。

私は、さっそく、お母さんにポチの名前を教えた。

「お母さん。犬の名前は、ポチに決まったよ。」

と、言った。お母さんは、

「ほー。ポチねー。良いじゃない。その分、大切に育てなさいよ。」
と、言った。

わたしは、ポチと、散歩に出かけた。

散歩

ポチと初めての散歩。何だか気持ちい。こんな、気持ちい気分を味わったのは、何年ぶりだろ。

1年ぶりかな??

ううん。2年ぶりの様な気がする。

きみとあるくみちは、何だか、とっても、楽しいよ。

(後書き)

116

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8105g/>

きみとあるくみち

2010年10月9日21時13分発行